

会 議 記 録

件名	令和5年度第2回芦別市部活動改革検討協議会		
日時	令和5年12月1日（金）18:00～19:30	場所	市役所3階第1会議室
出席者	<p>■検討協議会委員 会長、副会長、委員14名（欠席3名）</p> <p>■教育委員会 教育長、学務課長、体育振興課長、学校教育係長、社会教育係長、体育振興係長、学校教育係主査</p>		
内 容			
<p>1 開会（学務課長）</p> <p>2 会長あいさつ 皆さんこんばんは。時間も遅くなっておりますので1時間半程度で会議を終了させたいと思います。スムーズかつ実りの多い検討協議会になりますよう、皆様方のご協力をお願い申し上げます。</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 第1回検討協議会結果 事務局より資料に基づき説明</p> <p>(2) 休日における部活動の地域移行に関するアンケート調査結果 事務局より資料に基づき説明</p> <p>【会長】 ただいま事務局より説明がありました。後ほど意見交換の場を設けさせていただいておりますので、今後の進め方等に関するご意見などについては意見交換のところでご発言いただければと思います。議事の（1）第1回検討協議会結果について、資料1の内容についてご質問等がございましたらご発言をお願いします。</p> <p>【委員（スポーツ・文化団体関係者）】 部活動の地域移行について検討協議会を立ち上げて検討しているが、学校が部活動の地域移行を拒否することは可能か。例えば、中学校の部活動の顧問の先生が一所懸命にやっているのだから地域ではなく学校だけでやりますということが出来るのか、そうではなく、国の方針に基づき、教職員の働き方改革や部活動環境を考慮して、強制的に進めなければならないのか、教えていただきたい。</p> <p>【事務局】 国の制度の中では、強制的に部活動の地域移行を進めるものではなく、種目に応じて可能なものから進めるようにとされており、場合によっては地域連携や現行どおり学校において部活動指導を続けていくものもある。 強制的な取組ではないことをご理解いただきたい。</p> <p>【会長】 議事の（2）休日における部活動の地域移行に関するアンケート調査結果について、ご質問ですとかご意見等があればご発言をお願いします。</p> <p>【委員から特に意見なし】</p>			

(3) 先進地視察結果

事務局より資料に基づき説明

【会長】 ただいま事務局より説明がありました。後ほど、先進地視察に参加された委員の皆様より感想をお願いしたいとのことでありましたが、まずは、資料3の内容について、ご質問ですとかご意見等があればご発言をお願いします。

【委員から特に意見なし】

【会長】 それでは、視察に参加された委員の皆様より感想をいただきたいと思いますが、視察に参加されてみて新たに気づいたことや、芦別でも取り入れてみたいこと、印象に残ったことなど、どんなことでも結構ですのでご発言いただければと思います。参加されていない委員の方もいらっしゃいますので、登別市と留萌市を区切って進めさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

お時間の都合もございますので、お一人さま2分以内でお願いします。

◆登別市

【委員（スポーツ・文化団体関係者）】

登別市の状況を見るとまだ市内だけで部活動が維持できている。芦別市は、既に市内単独では実施が難しいスポーツが出ている中で、他の市町との連携を視野に入れないと今後団体競技は難しいという印象を受けたところである。

【委員（スポーツ・文化団体関係者）】

芦別市は少子高齢化が問題となっている。文化連盟としても芦別単独でできなければ、近隣の市町との連携が必要であると考えているが、これを長い目で見て考えるか、それとも、人口減少に合わせて短期的に考えるかだと思っている。伸びていく子どもはそういった高校に進学していくが、地元の高校に残る子どももいるので、そういった子どもを大切に育てていく必要があると感じている。

【委員（公募委員）】

中学校が複数校ある地域であるので越えなければならない課題も多いと感じた。逆に芦別市は中学校が1校なのでハードルは低いと思うので地域移行に関してはスムーズに行くのではないかと感じた。その一方で心配な点としては、指導者の部分で、保護者としては安心して任せられるかが心配なので、ティーチングスキルやコーチングスキルをどうしていくのかを考える必要がある。また、運営の部分で、市からそれほど多くの財源、委託料がない中、専属のコーチを雇えるだけの余裕もなく、どのようにして長い期間それを担保していくのが課題であると感じた。

【委員（PTA関係者）】

部活動の地域移行には莫大な費用が必要になってくるという印象を持った。また、指導者の大半が学校の先生で8名中7名であった。芦別モデルをつかってほしいという意見をいただいたが、芦別市は来年度中学校が1校体制になるので、移行という部分ではスムーズに行くのではないかと感じている。

【委員（学校関係者）】

地域の実態に即した形にしていくことが目指すべき方向性だと考えている。また、どうしても費用が発生するのでその部分をどうするのか、加えて、指導者をどうするかということで人を確保することと、指導者の質を上げていくための研修制度も必要になるだろうと感じた。課題は山積していると考え。登別市は一般財団法人文化スポーツ振興財団があり組織がきちんとしている。芦別でやるのであれば法人格を持ったものを設立して、そこで協力団体をコーディネートしていく形になるのか、進めていくとすればそういったことを感じたところである。

◆留萌市

【委員（スポーツ・文化団体関係者）】

指導者の問題として学校の先生が指導者をやられている中で、休日を教員ではなく地域の指導者を配置できるかが一番の問題だと感じている。そこから最初に手を付けていけば進むのではないかと感じている。

【委員（スポーツ・文化団体関係者）】

今年の10月からバレーボール、陸上、野球がスタートしたということで、今は学校を退職された先生が指導に当たっているということであったが、外部指導者が指導するとなれば資格が必要になってくるし、留萌市も小平町と合同でやっているが距離の問題がある中で送迎は保護者をお願いしているとのことであった。留萌市もこれから人口減少が進んでいくと思うので、将来的には単独ではチームが組めなくなっていくと思っている。

【委員（スポーツ・文化団体関係者）】

教職員の長時間労働の問題がある中で、学校の部活動は授業が終わってから始まるが、地域に移行された場合に同じようにできるかが心配である。留萌市では NPO 法人留萌スポーツ協会が教育委員会とタイアップして進めているが予算的なこともありぎりぎりの中で進めているという話もあり予算が不足したときにどうするのか心配ではあるが、大変勉強になった。

【委員（学校関係者）】

留萌市では NPO 法人留萌スポーツ協会が軸になっており、その存在がとても大きく早期実現に結びついていると感じた。指導員に関して一つの種目について複数指導員の配置が必要と言っていたので、そういった部分で指導者の確保、予算の部分で問題が多いと感じた。留萌市は人口規模からみても中学生の数が多し中での取組なので、芦別市においては競技の種目を限定して進めなければ指導者や予算に関して難しいのではないかと感じた。

【委員（公募委員）】

人口の違い、地域特性の違いがあるので芦別市に合わせた取組をする際に、どれを選んで残し、どれを広域連携にするのが今後の課題であると感じた。また、安平町が思い切った方向性を出したことが、悩んだうえでの決定だと思うが、機会があれば資料だけでも見させていただいて今後の芦別市が検討するにあたって一つの参考資料として見させていただけると議論が盛り上がりを感じた。

【委員（公募委員）】

吹奏楽を中心に話を聞かせていただいたが、人口規模と学校の規模が違い、複数校あって、それぞれの学校が単独で維持できているということで地域移行の必要性をあまり感じていないというところで、芦別市の場合は吹奏楽部が1校で人数も少ない中で活動しているが、これを維持していくのか、もしくは広域連携を考えるのかというところで、留萌市は広域連携を考えていないとのことだったので、なかなか単純に比較ができないと感じた。そのようなこともあり、芦別モデルというものの確立が必要になると感じた。印象に残ったことは、外部指導者の方と保護者の方が面通しをしっかりと、デリケートな部分が多いと言っていたので、移行するとなると時間と労力が必要になると感じた。その他、安平町の事例が紹介されたが安平町は令和7年度から部活動を廃止して部活動を移行して指導者のいない部活はやめてしまうといった大胆な切り口で動かれているという話を聞き、場合によってはそういうことも必要になると感じた。加えて、指導者の関係で市の職員や建設業の地域貢献活動の一環で検討してはどうかという話があったが、芦別市にも建設業があり経験豊富な方もいるのでそういう方をお願いして指導していただくのも一つの方法かなと感じた。最後に、スポーツ協会の伊端理事長さんが教育委員会の本気度が問われると言っていたので期待している。

【委員（PTA関係者）】

印象に残ったことは、校長先生が、中学校で部活の顧問を先生をお願いするにあたって大変

苦労しているとのことであつた。話を聞いていて地域移行は進めていかなければならないし、先生の負担が少しでも軽くなればと考えている。もう一点、道中の車内での話であるが、来年度中学校が統合し啓成中学校が空き校舎となるので、そこを吹奏楽部の活動場所に利用できれば良いという話を他のメンバーとしていたところであるので地域の資源を活用しながらできれば良いと感じた。

【委員（学校関係者）】

留萌市は芦別市よりも人口が多いが中学生割合も多くて驚いた。そういう留萌市でさえ増毛町や小平町との広域連携が不可欠な状態になっているということなので、芦別市でやるのであれば、広域連携は避けて通れないと感じたところである。加えて、安平町の事例であるが、資料の8ページの⑤に詳しく記載があるのでご一読いただきたいが、これはあくまでも留萌市からの聞き取りの内容なので、可能であれば、安平町を視察するですとか、正式な資料をいただいたら良いと思う。やはり大胆といいますかこれくらいの割り切りが必要なのかなと思うし、スポーツ協会の伊端理事長（元高校教諭）が教育委員会の本気度という話をしていたが、この検討協議会の覚悟が必要ですよと言われましたので、覚悟を持ってやらなければならないということを実感したところである。

(4) 今後の進め方（小中学校、競技団体等との意見交換の実施について）

事務局より資料に基づき説明

【会長】 ただいま事務局より説明がありました。今後の進め方として、本市単独でも練習や試合に参加できる種目と広域でなければ練習や試合に参加することが難しい種目などを検討していくために、年明けから、競技団体等との意見交換を実施したいとの説明がありました。また、今後の部活動のあり方や部活動が地域移行された際の学校や教職員の関わり方を確認するために、小中学校との意見交換を行いたいとのことでありました。検討協議会の委員の中には、実際に子どもたちを指導されている方や学校の校長先生もおりますので、意見交換の進め方等に関してご意見等があればご発言をお願いします。

【委員（学校関係者）】

意見交換の要望事項として、取組の概要や青写真がないと意見をまとめることができないと思う。最低でも活動の目的や指導体制、運営費と運営計画が盛り込まれた中である程度方向性が見えないと意見を言いようがない。実際、今話されていた問題のほかに、学校運営の教育活動の中で6月、7月に中体連があつたり、8月に吹奏楽のコンクールがあつたりして、それに対して生徒たちが取り組んでいく中で壮行会があり、その他にも部活動と絡めた生徒会活動があるのでそれに対しての位置づけも変わってきてしまうので、子どもたちは中学校3年間いる中で、新入生だったのが経験を積んで先輩になり、それなりのスキルを身につけて次の後輩に受け継ぐといった生徒同士の関係も大きいものがあるので、そういった教育活動も含めた中で部活動の運営をしているので、それがどういった位置づけになっていくのか、今現在で理想的な地域移行が進んでいるのが剣道と柔道であり、剣道と柔道は中体連に参加するときのみ先生が引率している。アンケート調査結果を見ても求める目的がバラバラなので、何を目的とするかで活動内容も変わってくる。単純に土日に先生方の指導を休んでもらってとなっても、ほとんどが土日に大会等があり一概に土日に職員を外して地域にとはいかないと思うので、目的に対して指導体制も変わってくると思っている。外部指導者になると報酬の部分も大きいので運営費と運営計画など具体的な見通しがないと中学校の部活動を地域にどうぞといかなくなると思う。指導者を校務の部分でやりなさいと言えなくなるし、あくまでも先生方の犠牲と献身の上で成り立っているのだから、校長であってもお願いする形で指導についていただいているのが実態であり、そういったことを含めていくと先生方の意見は時間がかかると思っている。

4 意見交換

【会長】 次に、意見交換ということですが、先ほど事務局より説明のありましたアンケート調査結果や先進地視察結果を聞いて感じたことや、前回の会議から約2か月になりますが、皆様方が所属されている団体や身の回りで話題になっていること、個人的に気になっていること、或いは、今後の進め方に関して、「このように進めていったら良いのではないか」など、どのようなことでも結構ですので、お話しいただければと思います。まずは、先進地視察に参加されていない委員の方にご発言をお願いしたいと考えておりますのでよろしくお願いたします。お時間の都合もございますので、お一人さま2分以内でお願いします。

【委員（スポーツ・文化団体関係者）】

先ほど剣道や柔道はうまくいっているとの話があったが、今、市内には少年団が7つくらいある。ほとんどが外部コーチで活動している。中学校がそういった外部の指導者を中に入れてくれば良いと思っている。実際に私も地元の高校で指導しているが、土日に顧問の先生が忙しい時に私が入っていき、そういう環境だから入っていけるが、中学校もそのような形になれば良いと思っているが、中学校の顧問の先生がこれを受けてくれるのかが一番問題になってくるし中学校の校長先生から話があったとおりでと思う。指導者の話もあったが、少年団はすべて外部指導者であり、ある程度の指導者はいると思う。ただライセンスが必要になると人数が限られてくるが経験や実績のある方はたくさんいるし、指導者の確保という部分では、それほど苦労しないと思っている。一番心配しているのは中学校の先生が学校が受け入れてくれるかどうか、本来は小学校、中学校、高校までは部活動も勉強も芦別市内で見守りたいというのが市民の一人として考えてきたが、一番心配しているのは学校が受け入れてくれるかどうかである。

【委員（学校関係者）】

現実的に芦別中学校で可能な部分はバレーボール部だと思っている。バレーボール部には専門に指導できる先生がいなくて頼み込んでもってもらっている状態で、昨年度も人事の希望の中ではバレーボール専門にできる先生を教育局に希望したが、教科のこともあってぴったり合う方もいなく、希望どおり人事で配置していただくのは困難な状況である。したがってモデルケースとして地域移行できそうな部活動に対してコーディネーターの方が地域とつないでいただき、うまく地域移行できるように入っていただいて、できる競技から取り組んでいくのが現実的だと思う。

【委員（学校関係者）】

先進地視察の資料が貴重だなと感じている。特に留萌市の提言書の13項目は第1回目の会議で出されたものとはほぼ同じようなところで各地域とも共通の課題を抱えていて、解決しながら取組を進めているということで参考になった。少し話題になっているのが、広域連携ということで野球やサッカーは他の市町と合同チームをつくって大会に参加したり練習したりしているが、ここをどうするというのが今後の課題になると、保護者や様々な方からお話を聞くと一つの課題だと思っている。

【委員（学校関係者）】

高校としても中学校からお話が合ったとおりで人事異動があるので今指導者がいても人事でどう動くかわからないので不安定な部分がある。このようなこともあり、地域において指導者の確保をしていく必要があると思うので、競技団体等に意見を聞いていくのは進めるべきと思っている。現状では、高校で新しく部活をつくるという話はないし、部活動以外の種目で頑張っている生徒にも引率の時に顧問をつけるなどの対応をしているので、その時その時でできる、教員がお手伝いをするという方向性になると考えている。やはり地域の指導者がどれだけ確保

内	容
	<p>できるかという部分に照準を合わせていくのが方向性として良いのではないかと考えている。</p> <p>【委員（PTA関係者）】</p> <p>今後、小中学校との意見交換を行っていくということであるが、芦別中学校の顧問の先生の率直な意見も聞いていただきたいと思う。現状、部活動がどのようになっているのか、単独でできているのか他のまちの学校と合同チームなのか、もし仮に地域移行した場合に今の顧問の先生はどう考えているのか、こうしてほしいといった意見があると思うので、顧問の先生のお話も聞ければよいと考える。</p> <p>【委員（PTA関係者）】</p> <p>先進地視察の資料と委員の皆さんの意見が参考になった。地域移行を進めていくにあたっては、指導者の確保や予算面に課題があると感じた。保護者の立場としては、子どもを指導者の方に安心して預けられることがありがたいことだと思うので、外部指導者と保護者の面通しが、地域移行を進める際は大切になってくると思うのでとりいれていただきたいと思う。</p> <p>【委員（公募委員）】</p> <p>中学校のバレーボール部の人数が多いということもあって1年生がなかなか試合に出られないという環境もあり、個人的に中学校の部活動がない日にバレーボール部の1年生を集めて活動している。私は指導者という立場で何ができるかを考えているが、社会人になっても続けられるチームづくりができれば部活動以外の部分でも地域移行しやすい体制になってくると思っている。大人も一緒になってやれる、それが指導の延長になっていくといった環境づくりができれば、このまちも活気づくのではないかと考えている。</p> <p>【会長】 ありがとうございます。先ほど、先進地視察の部分でご発言された委員の方で、さらに補足したいことや、今後の進め方についてお話ししたいことがあれば、挙手のうえご発言願います。</p> <p>【委員から特に意見なし】</p> <p>【会長】 今、皆さんよりご発言いただきました。皆さんのご発言に対し、事務局から何かあればお話をください。</p> <p>【事務局（学務課長）】 委員の皆様からいろいろな角度からご意見をいただき感謝いたします。先ほども今後の進め方としてお話をさせていただいたが、学校との意見交換、各競技団体等との意見交換やアンケート調査結果や先進地視察結果を踏まえて、皆様方とざくばらんな意見交換が図られるような形で進めていき、第3回目の検討協議会で中間報告させていただきたいと考えており、改めて委員の皆様からご意見を頂戴したいと考えているのでよろしくお願ひしたい。</p>
5	<p>事務連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回検討協議会開催について（事務局より説明） <ul style="list-style-type: none"> ※道教委の部活動の在り方検討支援アドバイザー派遣支援事業を予定している。 ・ 意見集約シートについて <ul style="list-style-type: none"> 次回の会議に向けての意見や本日発言出来なかった事などを記載して事務局へ提出いただきたい。 <p>【会長】 ただいまの事務連絡について、何か、質問・確認等あればご発言ください。</p> <p>【委員から特に意見なし】</p>
6	<p>その他</p> <p>【全体を通して特に意見なし】</p>
7	<p>閉会</p>